

授業科目	実践創造技術		単位数	2	必修		前期		達成 度の 点検 (できる 5 4 3 2 1 できない)
一般科目	専門科目	○	選必		選択	○	後期		
受講学生	学科	全学科		学年	4年		通年	○	
担当教員	学科	全学科		氏名	貝原巳樹雄、佐藤昭規、佐藤清忠、郷富夫、亀卦川尚子、清水久記、佐藤要、伊藤 博、高橋道康				
授業の 目標概要	教員と企業技術者のチームティーチングにより、自主性、考える力、問題解決能力を養う。企業現場の失敗事例や不良品が出来る課題や問題点を取り入れ、原因や解決策を考えさせ、問題解決能力、創造性の育成を目標とする。								
対応する本校の教育目標	C-3, D-2, E-2								
履修上の 留意点	実習、演習、プレゼンテーションはグループ毎に行う。工場見学の際は、注意を守り、身だしなみに注意し、挨拶を心がける。グループ活動になるので、リーダー、サブリーダー等役割分担を明確にすること。未知の事柄が多いので積極的に調査を行うこと。								
日程	授 業 項 目			評 価 内 容					
前 期	第1週	オリエンテーション		(1)グループ内の役割分担しながら、自主的に活動できる。					
	第2週	企業からの問題解決手法							
	第3週	班別作業（調査・討論）		(2)自ら課題に対する調査ができる。					
	第4週	企業からの問題解決手法							
	第5週	班別作業（調査・討論）		(3)グループ内で自分の意見を述べる事が出来る。					
	第6週	企業からの話題提供							
	第7週	班別作業（調査・討論）		(4)課題に対する報告書をまとめる事が出来る。					
	第8週	学内課題							
	第9週	班別作業（調査・討論）		(5)論理的でわかりやすくプレゼンテーションが出来る					
	第10週	班別作業（調査・討論）							
	第11週	班別作業（調査・討論）							
	第12週	成果発表準備							
	第13週	グループによる成果発表							
	第14週	課題報告のまとめ							
	第15週	課題報告書提出							
後 期	第1週	校内ガイダンス							
	第2週	工場見学（適宜）							
	第3週	企業からの課題提案							
	第4週	班別作業（調査・討論）							
	第5週	班別作業（調査・討論）							
	第6週	班別作業（調査・討論）							
	第7週	中間発表（進捗状況）							
	第8週	班別作業（調査・討論）							
	第9週	班別作業（調査・討論）							
	第10週	班別作業（調査・討論）							
	第11週	成果発表準備							
	第12週	グループによる成果発表							
	第13週	問題解決型授業のまとめ							
	第14週	課題報告書提出							
	第15週	達成度の点検							
期末試験の回数 (0 回)									
授業時間数 (50 時間)									
評価方法 評価基準	提出課題100%で評価する。詳細は第1回目の授業で告知する。 総合成績60点以上を単位修得とする。								
関連科目	企業実習ⅠⅡⅢ、卒業研究、実践工学								
	書 名			著 者 名		発 行 所		定 価	
教科書								円	
参考書									
オフィスアワー（教員在室時間）				授業の際、お知らせします					